

このメールマガジンはスポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて配信しています。

☑ スポーツ振興くじ (toto) についてはこちらから  
[日本スポーツ振興センター HP] <http://www.jpnsport.go.jp/>



スポーツ振興くじ助成事業

## 特集

### 行政・教育機関・学校部活動と連携しているクラブ

「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、地域に密着している組織とよいコミュニケーションを築くことが重要です。今回は、地域の行政・教育機関・学校部活動と連携しているクラブを紹介します。

詳細 → [チャグチャグスポーツクラブ](#)

詳細 → [さげがわ友遊 C'Love](#)

詳細 → [スポーツクラブ21長沢](#)

## 特別企画

### 総合型クラブで活躍する公認クラブマネジャー

総合型クラブが活動基盤をより充実させるためには、効果的な事業計画を企画・立案できる人材が求められます。今回は、日本体育協会公認クラブマネジャー資格を持ち、現場で活躍されている方々にお話しいただきました。

詳細 → [座談会](#)

## 連載

### みんなで盛り上げよう! オリンピック・ムーブメント

オリンピック・ムーブメントとは、オリンピックの精神に従って、スポーツを通じて平和でよりよい世界の実現を目指す活動のことです。今回は、香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の取り組みを紹介します。

詳細 → [http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM131\\_kagawa.PDF](http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM131_kagawa.PDF)

## 助成金情報

- (公財) ヨネックススポーツ振興財団「ヨネックススポーツ振興財団 平成29年度助成金」
- (公財) 安藤スポーツ・食文化振興財団「第16回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」

詳細 → [http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM131\\_aid.PDF](http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM131_aid.PDF)

## お知らせ

- イベント情報  
・第11回全国スポーツクラブ会議 in 熊本なんかん 参加申込期限(3月末) せまる!
- 日本体育協会公認スポーツ指導者資格情報
- 第2期スポーツ基本計画について

詳細 → [http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM131\\_info.PDF](http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM131_info.PDF)

## バックナンバー

毎月配信される総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジンは、バックナンバーとしてPDFでいつでも閲覧可能です。 [こちらをクリック](#)してご覧ください。

特集

## 行政・教育機関・学校部活動と連携しているクラブ

### 【チャグチャグスポーツクラブ】 ＜岩手県滝沢市＞

日本体育協会が掲げる総合型クラブの基本理念「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、地域のコミュニティと密接に関わっている行政や教育機関、学校の部活動とよいコミュニケーションを築くことが重要です。

そこで今回は、地域の行政・教育機関・学校部活動と連携しているクラブを紹介します。

#### 👉 ここがポイント!

- ① クラブ（体育協会）・保護者・テニス協会が熱意を持って団結し、学校との連携に至る!
- ② 初期の会員が指導者としてクラブへ戻ってくるなど、好循環が生まれている!
- ③ クラブの存在が、部活動を取り巻く諸問題の解決策としても機能!



## 1 クラブ概要

チャグチャグスポーツクラブのある滝沢市は、盛岡市の北西部に位置し、県庁所在地である盛岡市中心部から8kmの距離にあるベッドタウンです。平成12年2月には人口50,000人(当時)を達成し、日本一の人口を有する村となりました。また平成26年1月には市制施行となりました。

クラブ名に使用している『チャグチャグ』は、毎年6月の第2土曜日に行われる『チャグチャグ馬コ』からいただきました。このお祭りは農耕馬に感謝する200年に及ぶ伝統行事で、100頭ほどの馬が市内の蒼前神社から盛岡市内の八幡宮までの13kmを行進します。馬に設えたあでやかな装飾とたくさんの鈴が特徴で、歩くたびにチャグチャグとなる鈴の音が名称の由来といわれています。

クラブの掲げる理念は、全てのスポーツの原点は『遊び』であり、小中学生の会員はこの原点をスタートに協調性や社会性を育むこと、高校生以上の会員は生涯を通してスポーツに親しむことで明るい社会を創造することです。

## 2 行政・教育機関・学校部活動と連携するようになった経緯と具体的な取り組み

当クラブの特徴として、体育協会がクラブ設立から現在の運営に至るまでを行っていることが挙げられます。

実際のクラブ立ち上げまでの経緯は、平成7年度に行った種目別協会代表者会議の席上で、協会員の高齢化への対応及び現役選手の発掘をすることの2点が課題として浮き彫りになったことにあります。体育協会としてこの課題に対応するため、翌年度から『選手育成推進事業』を4年間実施、さらに将来の総合型クラブ発足を見据えて『スポーツクラブ育成推進事業』を2年間実施し、総合型クラブ設立に向けた基礎作りを行いました。このような経緯を経て、平成14年4月16日開催の設立総会において「たきざわチャグチャグスポーツクラブ」(名称当時)として発足しました。

クラブ立ち上げ当初、硬式テニスは小学生を対象にスタートしました。活動を継続する中で、上達する会員が増えるとともに大会で入賞する会員も増え、自分たちが中学進学後に競技を継続することができるのか、不安な思いがあったようです。その思いを受けた有志の保護者数人が、中学校に硬式テニス部新設の働きかけを行いました。学校側からは全く聞き入れてもらえませんでした。

そこで、日々指導に携わっていた市テニス協会の菊池会長に対して相談を行いました。菊池会長は方策を考えた結果、クラブ(体育協会)へ申し入れを行い、保護者、クラブ(体育協会)及びテニス協会が合同で取組みを行なうことになりました。

最初の取組みとしては、当時の教育長から総合型クラブについての理解を得た上で、学校からの理解を得ることでした。そこで、市内小中学校長が一堂に会する学校長会議への参加を認めてもらうために教育委員会との協議を重ねました。その際、幸運にも当時の教育長は行政職の経験者であり、スポーツ振興計画に造詣が深かったことが有利に働きました。会議では総合型の意義や必要性について熱く説明することができましたが、当時の総合型クラブの認知度は現在と比べてはるかに低く、校長先生からは懐疑的な意見も多く出されました。また、後日談ですが学校現場においても新規に部活動を増やすことによる教員の負担増加を懸念する声も多かったそうです。

このような状況下で不安を抱えながら中学校を訪問したのですが、そこでも幸運に恵まれ

ました。それは、訪問の直前に赴任して来られた校長先生が、前任地の中学校において校外型部活動を設立した実績をお持ちの方だったことです。これによって中学校側とは積極的な意見交換を交わすことができ、協議がスムーズに進みました。

また、この中学校はバスケットボールや剣道などにおいて外部指導者が多く活躍している歴史的な土壌があったことも連携する上で有利に働きました。このように多くの幸運に恵まれ、校外型部活動『チャグチャグスポーツクラブ滝二中硬式テニス部』(名称当時)として平成15年4月からスタートすることができました。

### 3 連携内容

硬式テニス部設立において学校側が示した条件は、学校の敷地から離れて行う活動のため、保護者とクラブ(体育協会)双方からバックアップすることを求められました。そこで、父母会を組織し保護者が主体的に当番表の作成に携わり日々の活動をサポートしました。

さて、いざ硬式テニスをスタートしたものの、中学生への指導は初めてのことで毎日が試行錯誤の連続でした。技術指導面を市テニス協会菊池会長が1人で担い、保護者の方々がボール拾い等をサポートしていましたが、菊池前会長が仕事の都合でどうしても活動に間に合わない時は、同じく保護者のサポートのもとキャプテンを中心に練習メニューをこなしていました。このように指導者と保護者の距離が近いことから、臨時的にテニス経験を持つ保護者にコーチをお願いすることもありました。しかし、継続的に指導を依頼するまでには至らず、菊池前会長を中心とした少人数指導の期間が長くありました。

現在では、主管する市テニス協会からの十分なバックアップと併せて、会員OBやOGが指導者として活躍している事例もあり人的な循環が生まれております。

また、学校の敷地から離れて行う活動のため、生徒間に「サボれる部活」との認識が広がってしまいました。この問題に対応するため当人と保護者及び学校、指導者、場合によりクラブ(体育協会)が面談を重ね、指導者の人数を平均2人態勢にする、少人数で35人の生徒を指導する方法を指導者が学ぶなどし、徐々に解決することができました。



### 4 連携したことによる クラブや連携機関・団体への効果・影響

設立2年目からは学校側の配慮で担当の先生を配置していただき、校内での部集会等をメインに担当してもらい、設立3年目以降は活動費が支給されています。

外部指導者、学校長他教員、PTA役員等をメンバーとするサポーター交流会を情報交換の場として定例化しています。その中で、顧問の教員の方から「外部指導者と積極的な意見交換をすることができる機会が得られ、大変有り難い」との感想を聞くことができました。

## 5 今後の課題・展望

平成22年度より、学校部活動にはない種目でも週3日以上を外部で活動する生徒に対し、中学校として『校外活動部』として認めることになりました。そして、東北大会などにおいては、団体戦へ出場するために教員の帯同が必須でしたが、学校の配慮で派遣していただきました。

また、硬式テニスを設立した初期の会員が、高校、大学とテニスを継続し、社会人になってからも市内の大会に参加しながらクラブ指導者としてかかわる事例も見られ、指導者の好循環が生まれてきています。このことは他の種目へも波及し、指導者同士が切磋琢磨する動機付けとなっています。

現在、硬式テニスの他にもバドミントンやラグビーなど計5種目において市内中学校との連携を確立しています。教員が活動経験のない部活動顧問を引き受けざるを得ない現状や部活顧問の長時間過密勤務の解消など、中学校部活動を取り巻く諸課題を解決する存在として、総合型クラブが担うべき役割は益々大きくなっていくと思います。

(公益財団法人滝沢市体育協会 千葉 貴志)

### クラブプロフィール

設立年月日 : 平成14年4月16日

所在地 : 岩手県滝沢市

運営 : 会員数 : 503名 (平成29年2月現在)  
予算規模 : 8,469,000円 (平成28年度)

有給職員 : 1名

クラブ内資格 : 日体協公認アシスタントマネジャー 3名

保有者数 : 日体協公認競技別指導者資格11名

クラブ運営 : 公益財団法人滝沢市体育協会

実施種目数 : 17種類

指導体制 : 滝沢市体育協会加盟種目別協会指導者等

年会費 : 5,000円 (家族内2人目から3,000円) で複数種目の選択が可能

#### ■ 連絡先

郵便番号	020-0655		
住所	岩手県滝沢市鶴飼御庭田1番地1		
TEL	019-687-3637	FAX	019-687-3346
Eメール	chaguspo@taikyou.or.jp		
ホームページ	<a href="http://www.taikyou.or.jp/chaguspo/index.html">http://www.taikyou.or.jp/chaguspo/index.html</a>		

特集

## 行政・教育機関・学校部活動と連携しているクラブ

### さけがわ友遊C' Love ＜山形県最上郡鮭川村＞

日本体育協会が掲げる総合型クラブの基本理念「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、地域のコミュニティと密接に関わっている行政や教育機関、学校の部活動とよいコミュニケーションを築くことが重要です。

そこで今回は、地域の行政・教育機関・学校部活動と連携しているクラブを紹介します。

#### 👉 ここがポイント!

- ① スポ少・部活動の事務手続き等を受け持つことで、スムーズな連携が達成!
- ② スポーツのみならず、地域の伝統文化の継承も!
- ③ クラブの自主事業に各団体の人財・財源が加わり、Win-Winの協働関係に!



# 1 クラブ概要

地域住民の健康・体力向上、多世代交流による地域コミュニティの活性化を図ることを目的として、平成20年、村体育協会を中心に、体育指導委員や村内各種団体の代表によって設立準備委員会を発足しました。準備段階から生涯スポーツ担当課、健康福祉課職員も準備委員として参画いただき、地域住民、各種団体と連携を図りながら準備を進め、『心と身体健康づくり』『仲間づくり』『地域づくり』の3つの柱を理念に、平成22年『鮭川村総合型地域スポーツ文化クラブ さげがわ友遊C' Love (ゆうゆうクラブ)』設立に至りました。

「運動は苦手」という理由で設立に距離を置いていた地域住民の声を反映させ、クラブ名に「文化」を取り入れた経緯もあり、設立後は文化活動の展開にも力を入れ、地域住民のみなさんが参加できるよう様々なプログラムの提供を行っています。

サークル  
(5種目)

ジュニア  
スクール  
(8種目)

スクール  
(5種目)

イベント  
(16種目)

健康づくり  
事業  
(17種目)

共催事業  
(7事業)

# 2 連携内容

現在、スポーツ少年団(以下 スポ少)、中学校部活動(文化部含む)、小・中学校、村体育協会加盟団体、村文化団体、教育課、健康福祉課、むらづくり推進課、地域おこし協力隊、観光協会、自然保護委員会等、様々な団体や機関と連携しながら事業を行っています。

## ■ スポ少・中学校部活動

クラブ設立時に村内のすべてのスポ少や部活動に、設立の趣旨を説明しながら課題の聞き取りを行っていました。共通していたのが、指導者の確保や事務的な業務が保護者にとって大きな負担になっていることでした。その課題解決として、各団体の施設の申請や調整、傷害保険加入手続・事故受付、指導者の派遣をクラブが行うことを提案し、現在ではみなさんが会員となってクラブのイベントにも参加していただいています。

## ■ 小学校

教育委員会で実施している「放課後子ども教室」へのプログラム提供の依頼があり、クラブで行っていたプログラムをクラブスタッフが出向いて実施しています。今年度は、巨大英語かるた大会を実施しました。体育館全面にかかるたを拡げ、読み手を村内に配属されているALTに依頼し、遊びながら単語を習得し、正確な発音を聴く機会になっています。

また、運動会や陸上大会前に「陸上教室」、水泳授業が始まる前には「水泳教室」、スキー大会前には「スキー教室」を開催し、クラブスタッフの競技専門者が指導を行っています。参加児童の保護者からは、「走ることに意欲的になった」「プール授業が始まる前に泳げるようになった」「スキーが滑れるようになった」と好評で、保護者にもクラブの存在をアピールできる活動につながっています。中でも水泳教室では、学校の先生に指導方法の勉強を兼ねて参加していただき、指導の幅を広げる結果にもなっています。



## ■ 文化団体

長い歴史を持つ鮭川歌舞伎に興味を持っていただこうと、いままで開催したことなかった『歌舞伎入門講座』を鮭川村歌舞伎保存会に依頼し、保存会の皆さまに協力いただき開催しました。地域の若年層に知ってもらおうとの取り組みでしたが、これをきっかけに定期公演会のスタッフとしてクラブが携わることとなり、今後は歌舞伎役者として継承につながればと思います。



また、地域に昔から伝わる唄と踊り(羽根沢節保存会)の伝承を目的に毎年行っていたお祭りが、スタッフの高齢化、人手不足により開催が難しくなってきたため、当クラブが開催している夏まつりと融合し、若い世代の皆さんにお披露目する機会となりました。

## ■ 健康福祉課

以前は、健康福祉課にて実施していた「健康づくり」メニューが地域住民にとって唯一の運動・体操を指導してもらう機会でしたが、単発開催や短期間であったため、年間を通して開催してもらいたいとの要望がありました。クラブ設立後にその受け皿を担い、クラブのインストラクターが教室の指導をすることによって、地域住民の要望に応えることが可能となりました。翌年には「鮭川村健康づくり委託事業」として以降毎年実施しています。(H28:委託金600千円)

また、車移動のできない高齢者向けに各地区への出前教室を提案し、現在では委託事業の他に、高齢者介護事業、介護予防事業、地区サロン事業など、村内各地区に出向いて実施しております。(H28:合計67回、謝金単価1回7千円)

## ■ むらづくり推進課

村が実施している農都交流事業にて、冬のイベントでの受け入れの依頼があり、クラブが毎年開催している「雪まつり」への参加を提案しました。当日は雪ランタン、雪像作りを体験していただき、併せてまつりの運営をお手伝いしていただきました。(受入事業費123千円)



## ■ 地域おこし協力隊

鮭川村では現在3名の地域おこし協力隊が配属されています。当クラブのイベント参加をきっかけに連携するようになり、クラブスタッフと同様に企画・運営に携わっています。地域おこし協力隊は、地域に密着した様々な取り組みや村内外に向けた情報発信をしており、専門的なスキルや多世代とのつながりもあるため、クラブには欠かせない存在となっています。今年度は15の事業にて連携・協働しています。



## ■ 観光協会

クラブでは地域住民を対象に、村内の巨木や名所を巡る事業を実施していましたが、村観光協会では他市町村や県外からの参加者を対象に巨木トレッキングを行っていました。両者間で検討し、経費を抑えて開催できるクラブ側が業務委託として請ける形で一本化となりました。(H28委託費70千円)

それを機にクラブのイベントを観光協会が村外・県外に広報していただくようになり、集客につながっています。また、クラブのイベントで地元温泉を活用する際に、宿泊補助や温泉入浴割引も受けられ、参加者にとって大きなメリットとなっています。

### 3

## 連携したことによる クラブや連携機関・団体への効果・影響

クラブが各団体と連携することで、クラブにとっても連携先にとっても良い影響をもたらしています。スポ少・部活動との連携では単に保護者の負担が軽減されただけではなく、クラブが調整を行っているため、行政の体育施設の受付業務においても事務量の大幅な軽減につながっています。健康福祉課との連携では、連携する以前は職員がメニューを考え、指導者や会場を手配した上で当日の運営もしなければならなかったのが、行政がクラブに委託したことによってその業務がなくなり、それ以外の業務に手厚く従事できることにつながっています。いずれも連携した結果が行政にとっては業務の軽減につながり、クラブにとっては財源確保や、会員拡大に及んでいます。

むらづくり推進課、地域おこし協力隊、観光協会との連携においては、クラブとして新たな事業を展開したわけではなく、いままで行っていた自主事業を協働する形で、人財・財源が加わりました。何一つお互いにとってデメリットがない連携事業が、地域住民にとっても、自分に合ったメニューの選択が可能となって習慣的な運動が定着しています。地域住民の課題解決、地域コミュニティの活性化という効果にも結びついています。

### 4

## 今後の課題・展望

新年度は商工会や地元企業との連携を進めていくと共に、引き続き地域住民の声に耳を傾け、課題解決に向けた新たな事業を展開していきたいと思えます。連携は相乗効果を生み、連携によって更なる大きな課題解決、クラブの拡大、よりよい地域づくりにつながっています。  
『連携=相乗効果』

(さけがわ友遊C'Love 阿部 諭)

## クラブプロフィール

設立年月日 : 平成22年2月28日

所在地 : 山形県最上郡鮭川村

運営 : 会員数 : 302名 (平成29年2月現在)  
予算規模 : 932万円 (平成28年度)

有給職員 : 2名

クラブ内資格 : 日体協公認アシスタントマネジャー 6名

保有者数 : 日体協公認競技別指導者資格3名

特徴 : クラブが活動している鮭川村は、山形県の内陸北部に位置しています。人口は4,400人、三世代同居率は日本一、村の中心を一級河川「鮭川」が流れる自然豊かで小さな農山村です。さけがわ友遊C'Loveでは運動プログラムのみならず、その豊かな自然を活用し、文化的要素も取り入れた観光事業や、多世代による交流事業など幅広く事業展開しています。

### ■連絡先

郵便番号	999-5201
住所	山形県最上郡鮭川村大字京塚1324-2 鮭川村中央公民館内
TEL	0233-55-3051
FAX	0233-55-3053
Eメール	sakegawa-kouminkan@diary.ocn.ne.jp
ホームページ	<a href="http://www7b.biglobe.ne.jp/~sakegawa_yu_yu_c_love/index.html">http://www7b.biglobe.ne.jp/~sakegawa_yu_yu_c_love/index.html</a>

## 行政・教育機関・学校部活動と連携しているクラブ

### 【 スポーツクラブ21長沢 】 ＜兵庫県淡路市＞

日本体育協会が掲げる総合型クラブの基本理念「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、地域のコミュニティと密接に関わっている行政や教育機関、学校の部活動とよいコミュニケーションを築くことが重要です。

そこで今回は、地域の行政・教育機関・学校部活動と連携しているクラブを紹介します。

#### 👉 ここがポイント!

- ① 地域の現状を考え、「転倒防止」に的を絞ったイベントを開催!
- ② スポーツ大会等で地域の専門学校と関係を築く!
- ③ クラブは人材と設備の提供を受け、学生は貴重な体験が可能に!



# 1 クラブ概要

近年の少子高齢化や情報化などの社会の急速な変化にともない、コミュニティの崩壊、地域・家庭の教育力の低下、子供たちの規範意識の欠如などがうたわれ始めて久しくなっています。そのような中、スポーツを通じて、親子のふれあいや地域の人々の交流を促進し、健康で活気ある地域づくりを行うとともに、子供たちにルールを守る精神やマナーを大切にする気持ちなどを培うことの必要性が生まれてきました。

そこで、日常生活の中で自発的にスポーツを楽しみ、各自の健康・体力を維持・増進するとともに、会員相互の親睦を図り、地域社会の連帯と明るく豊かな生活の実現を目的として、「自主自立」を理念に、平成14年5月、「スポーツクラブ21長沢」を設立しました。

発足時には約300名の会員数がおり、スポーツ活動部・文化活動部あわせて7種目が活発に活動しておりました。しかし、平成21年に津名町（現在は淡路市）立生穂第二小学校が廃校になった結果と、この地域が限界集落になりつつある中で会員数も55名に減少しているのが現実です。

現在は、4種目（ウォーキング、グラウンド・ゴルフ、軽音楽、和太鼓）が活動を行っております。

## 2 専門学校との連携までの経緯

当地域が限界集落になりつつある中で、「地域の住民が自主・自立し、生き生きと生活する」ために何が必要かと考えた結果、「転倒防止」が効果的だろうと思い、市内にある「関西総合リハビリテーション専門学校」の先生および学生に協力をお願いしました。

関西リハビリテーション専門学校は、市のスポーツ大会に積極的に参加し、地域との交流を図っている学校でした。そして、そこで学校関係者とクラブ関係者が知り合いとなり、大会後の反省会でより親密になっていました。そのように、すでに学校関係者と関係性を築けていたこともあり、連携活動の話はとんとん拍子で進みました。

この経験から、どの機関や団体も、「身近な地域密着」が必要だと感じました。

## 3 連携内容

「こけたらいたい※」をキャッチフレーズに身体測定を行い、会員個々の体のバランスや柔軟性・瞬発力等を測定し、自分を客観的に観察することで、転倒防止に役立ててほしいという考えで行いました。

計画を立ていざ実行する時、多くの会員に参加していただく為に、本クラブの総会と兼ねて行うという工夫をしました。身体測定当日には、専門学校から理学療法士を2名、学生を10名程度派遣していただいたほか、血圧計や体力測定用器具一式も貸し出していただき、準備からお手伝いいただきました。

身体測定を数値化した結果、皆が自分の弱点を把握し、結果はその後のクラブ活動に活かされています。また、この取組を通して、関西総合リハビリテーション専門学校の学生さんは「実体験」という貴重な経験をすることができ、当クラブの会員は学生さんとの触れ合いの中で自分を知ると言うお互いにより影響がありました。

※「こけたらいたい」の「こけたら」は、転倒という意味の関西弁です。



## 4 今後の課題・展望

クラブでは、当初の「5年計画」の活動を終えた今、関西総合リハビリテーション専門学校と連携した「こけたらいたい運動は」実施していません。「こけたらいたい運動」をとおして目指した、「体を元気に・心を豊かに」は、転倒を防ぐこと⇒ケガ防止⇒寝たきり防止⇒「体・元氣、心・豊、笑顔」につながり、地域全体で取り組む活動として、概ね達成できたと感じています。

しかし、平成28年度は、当初の「5年計画」の満了と、緩やかながらも参加者が減少してきたことから実施できず、今後に向けての明るい将来像が見えていないのが現状です。

少子高齢化による会員数の減少や、運営の困難さは、本クラブのみが抱える課題ではありません。淡路市におけるスポーツクラブ21の実状は、その多くのクラブにおいて、活動そのものがきわめて困難な状況に陥っています。しかしながら、今後も設立当初の理念「自主自立」の精神を堅持しつつ、課題を少しずつ克服できるよう模索していきたいと思っています。

（ スポーツクラブ21長沢 会長 坂本 茂樹 ）  
淡路市教育委員会事務局 スポーツ推進室 足立 敬介

### クラブプロフィール

設立年月日：平成14年5月13日

所在地：兵庫県淡路市長澤地区

運営：会員数：55名（平成28年7月現在）

予算規模：477千円（平成28年度）

#### ■ 連絡先

郵便番号	656-2221
住所	兵庫県淡路市長澤628-1



# 総合型クラブで活躍する 公認クラブマネジャー



伊賀上 哲旭 氏

藤堂 綾子 氏

前田 江美 氏

菊地 正 氏

総合型クラブの自立・自律に向けて、活動基盤をより充実させるためには、効果的な事業計画を企画・立案できる人材が求められます。日本体育協会では、そのような人材を育成するために、日本体育協会公認クラブマネジャー資格（以下、公認クラブマネジャー）と日本体育協会公認アシスタントマネジャー（以下、公認アシスタントマネジャー）を養成しています。

そこで今回は、日本体育協会公認クラブマネジャー資格を持ち、総合型クラブの現場で活躍されている方々に、マネジメント能力の重要性や公認クラブマネジャー資格がどのように普段のクラブ運営に活かすことができているか、クラブ運営にとって必要となる人材等についてお話しいただきました。

## 座談会メンバー

- 伊賀上 哲旭 氏 (NPO法人 今治しまなみスポーツクラブ クラブマネジャー／愛媛県)
- 藤堂 綾子 氏 ((公財) 岐阜県体育協会 クラブアドバイザー／岐阜県)
- 前田 江美 氏 (スポーツ・レクリエーション倶楽部くせ クラブマネジャー／岡山県)
- 菊地 正 氏 (当メールマガジン編集委員長：NPO法人 高津総合型スポーツクラブ SELF副理事長・クラブマネジャー／神奈川県)

## 1 クラブマネジャーを中心にしたクラブの体制づくり

**司会:** 今日にはクラブマネジャーとして現場で活躍されている方々にお集まりいただきました。みなさんのクラブでは現在どのような体制でクラブ運営をされていますか？ 藤堂さんはクラブアドバイザーとして岐阜県内の様々なクラブをご存知だと思いますが、いかがでしょうか？

**藤堂:** 岐阜県には県がクラブを認定するという制度があるんですね。私はその認定された64クラブを訪問したり、広域スポーツセンターの補助事業の案内や研修会を開催したりしています。県内全クラブの中で公認クラブマネジャーを取得しているのは16人ですが、全員が現在クラブマネジメントに関わっているかというところではないんです。また、人によってクラブ内でおかれている立場も違います。公認クラブマネジャーを取得した人がもっと活躍できればよいのですが、そのあたりはこれからの課題だと思います。



藤堂 綾子 氏

瑞穂市の「NPO法人 なかよしクラブみずほ」は公認クラブマネジャーが3人（現在は2人）いるので、理念などの共通理解ができていて、クラブ運営がやりやすいということでした。他にも、理事長や事務局スタッフの中に、公認クラブマネジャー資格取得者がいるクラブは、成長を遂げていると感じます。クラブの後継者探しという面から考えても、複数人の資格取得者でクラブ運営を行っていくことは大事なこともかもしれません。

**前田:** 公認クラブマネジャーで常勤は私だけですけれども、非常勤事務局員に1名、運営委員に2名の公認アシスタントマネジャーがいます。

**伊賀上:** 公認クラブマネジャーが私を含めて2人、公認アシスタントマネジャーが2人です。今治市から約40施設を指定管理者として受託しており、施設管理とクラブの運営を分担してマネジメントしているという感じですね。

**菊地:** 公認クラブマネジャーは僕1人ですけど、スタッフは複数名います。マネジメントする人が複数人いる場合は、イメージを共有することが重要でしょうね。そこがずれていると難しいと思います。役員等の上の立場と、現場にいる立場では考えが違うこともあるでしょうし。伊賀上さんのような若い方がしっかりやっているのは非常に良いことだと思います。でも、間に入って大変だったりしませんか？（笑）



伊賀上 哲旭 氏

**伊賀上:** 大丈夫です（笑）。信頼関係ができていますので、円滑にまわっています。

**司会:** 実際に、クラブマネジャーとして働いてみて、気になっていることはありますか？

**伊賀上:** 最近感じていることですが、クラブマネジャーの社会的な地位がもう少し認められないのかなと思っています。スポーツの指導者は、プロの指導者が出てきたりして活躍していますけれども、それを支える事務局やクラブマネジャーはまだ認識されていません。まだまだ「ボランティアでしょ？」と聞かれるような状況なので（笑）。

どうしても学校部活動の「マネージャー」と同じイメージがあるんですけど、クラブマネジャーの価値、地位を上げていくのが大事だと思います。そのためには、クラブマネジャーの必要性をもっと成果として示したり、各種事業はもちろんアウトプットの質を高めていかないと認められないというのはありますね。

**菊地：**ただ、そのようなクラブマネジャー全体の地位向上まで考えられる人材を各クラブに求めるのは、なかなか大変かもしれません。例えば、財源をどこかに支援してもらうか、いくつかのクラブがまとまってお金を出したりして、1人のスペシャリストを雇用するのもいいと思います。もちろんクラブアドバイザーの方は一生懸命にやったださってますけど、ひとつの都道府県全体を見るのはやっぱり難しいですもんね。



菊地 正氏

**藤堂：**残念ながら、そうなんですよね。

**司会：**クラブマネジャーとして地域との関わりは必要だと思いますが、行政や学校とはどのような連携をしていますか？



前田 江美氏

**前田：**行政から防災関係の事業委託を受けて、自主防災組織設立推進や防災キャンプなどを行っています。まったくスポーツとは関係ないんですけども、行政から声をかけていただきました。たぶんクラブ設立10周年記念事業を盛大に行ったり、地域にクラブの存在を発信してきたかもあるんです。今は、介護予防の分野でも教室を実施してほしいと行政からは言われてるんですけど、まだそこまでは取り組めていません。

行政との調整役にマネジメントが得意な人をあてて、情報を取ってきてもらっていたので、私としては行政とクラブが良いネットワークを作ることができていると思います。

**伊賀上：**僕は、クラブのある今治市ではなく松山市の出身なので、地域にゆかりがあるわけじゃないんです。いろいろと活動をしていると、学校のつながりも大事だったりするので「今治出身だったらもっとこうできたのにな」と思うことはあります。でも、活動していく中で地域や学校の方々とは良い関係が築けていると思います。

## 2 クラブ運営に必要な人材とクラブの成長

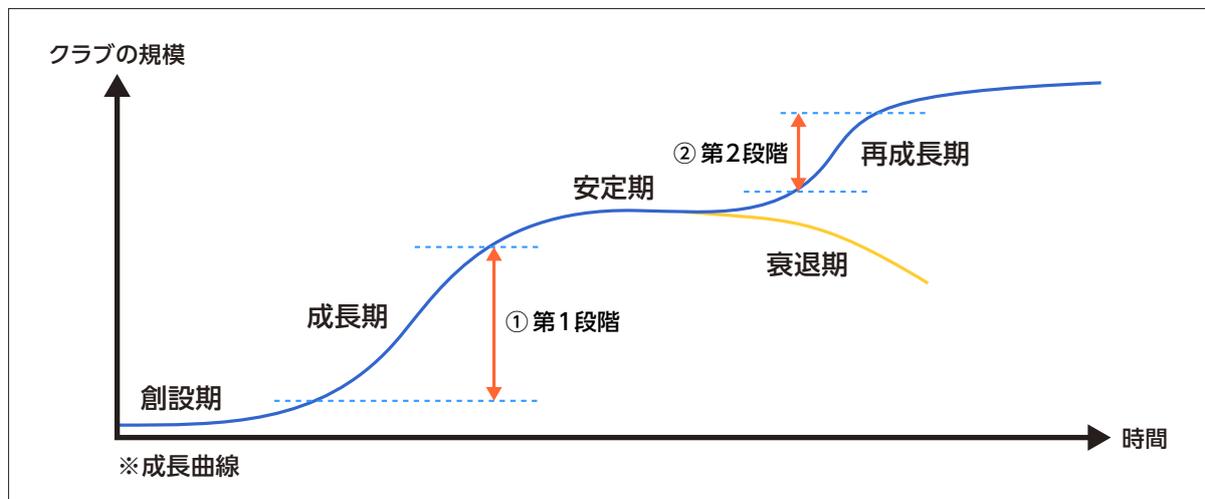
**司会：**クラブの存在をクラブ主導で地域に発信していくことが重要ですね。クラブマネジャーとして大切なことや、後継者の育成についてはどう思われますか？

**菊地：**僕は、クラブマネジャーの一番大事なことは人をつなげていくところだと思ってます。それはクラブの中だけじゃなくて、当然地域の中をつなげていかなきゃならない。そういうことができる人材を育てていないというよりは、今はまだそういう仕組みがないという現状があるので、総合型クラブのマネジャーはあえてそういうところに目を向けて地域に出て行かなきゃならないですね。あと、人づきあいが苦手な人はクラブマネジャーには向いてないと思います。人をつなげるには人から好かれる力も必要ですね。

**藤 堂：**多くのクラブを見てきて、やっぱり人を育てていかないとクラブの成長はないと思います。クラブマネージャーが力をつければクラブが伸びるとは思いますけども、長期的に考えるとこれからの人材を育てていかないといけない。  
そうすると、例えばスポーツ少年団のリーダー制度のように、やっぱり子どものうちからクラブに親しむ環境を作っていくのが大事だと思いますね。急にクラブスタッフを探そうとしても関わりがなければなかなか興味も湧きません。中学生や高校生のときから地域で一緒にやっていくようにすれば、その子たちが大きくなってクラブで活躍してくれる。そういうイメージが描けるんじゃないかと思います。

**伊賀上：**人材育成という点で、僕のクラブはユニークな方法を採用していると思います。実は、若い職員たちにうちの理事が経営している地元企業の新人研修と一緒に受けてもらってるんです。社会人としてのマナーとか、収入・支出など経営についての知識とか、そういうことですね。それも最初の何週間だけではなく、2年間くらい定期的に続けています。そこで学んできたノウハウをクラブ内でもフィードバックしていくという循環ができていますね。  
また、「本を読むこと」「人に会うこと」「現場に行くこと」、そこで学んだことを「実践すること」をみんなが意識しています。学ぶ機会を多くつくって、それを現場で発揮する。それが人を育て、みんなで成長することにつながるのかなと思います。

**司 会：**クラブには、ぐんと成長する第1段階があると思います。成長といっても、会員数なのか収益の数字なのか、それともメンバーシップの充実なのか、いろいろなたらえかたがあると思います。これはクラブの成長をグラフにしたもので、皆様はすでに最初の成長期を迎えられていると思いますが、クラブとしては現在どんな状況でしょうか。



**前 田：**私のところは、現在成長できているとは言いづらい状況なんです。ここから再成長するためにいろいろ模索していますが、クラブとは別に法人を立ち上げることを考えています。なぜ新たに立ち上げるかというと、会費以外での収入を確保するためであったり、委託事業を受ける前準備であったりというのが主な目的です。クラブがもうワンステップ上がるために、今が正念場だと思っています。

**伊賀上：**うちは創設して10年になります。この10年は、創設者である理事が立ち上げた当初の想いを実現していこうということで走ってきたんですけども、それが少しずつ形になってきたとき、次の10年をどう描くのか。これまでと同じように理事の想いをトップダウンで実現していくというのはちょっと違うんじゃないかと思っていて、理事自身も「この後は自分たちで考える」というスタンスなんです。これから、どうビジョンや方向性を描いて動いていくかが今の課題です。

**菊地:** うちがNPO法人格を取って11年目、準備段階からだとして14年で、現在は安定期の段階です。企業もそうですけど、再成長期というのは本当に難しい。もしかしたら創業時よりも難しいかもしれません。企業なら、再成長するには相当なリスクを負わないといけない。投資するとか、人を増やすとかしないと変わらないわけですよね。じゃあ我々はどうするかというと、お金はなかなか出せないわけで、本当に難しいと思っています。現実的にはクラブを急激に大きくしていくことは無理なので、やっぱり地道に事業を増やしていかないとダメ。今、ある事業にクラブと行政で取り組んでいますが、これは行政ではなくクラブ主導です。やっぱり行政の人でも、スポーツが好きなのはいても「スポーツの専門家」はあまりいないわけですよ。しかも3年とかで異動があって、担当者が変わってしまう。結局は我々がリーダーシップを持って推進していかないと進まないんですよ。もちろんまだまだの段階だけど、目標と夢を持って計画を進めていかないと、再成長という坂は上れないと思います。

### 3 さらにクラブを発展させるために

**司会:** これからさらにクラブを発展させていくためのスキルや、クラブマネージャーにとって必要な要素を、3つ挙げていただけますでしょうか。

**菊地氏**

- 現実的な計画
- 前へ進む力！推進力！
- たくさんの仲間

**菊地:** 大きな夢を追いかけるためには、同時に現実的な計画がなければいけません。あと、マネージャー個人でも、組織としても、前へ進む推進力は必要です。ちょっとずつでも前に行くという気持ちがみんなにあるかどうかですね。その気持ちが行政とか地域の人たちにも伝わって、「行こうか!」という雰囲気ができるので。それと、たくさんの仲間。現場だけではなく、経理ができる人などいろんな人がいてプロジェクトが進められると思います。でもやっぱり、最終的には自分の夢だと思いますよ。例えば「子どもたちの遊び場がほしい」→「そのためにはどうすればいいのかな」というところから始まって、そこから現実的な話になるわけです。現実的に夢を叶えるために、さっき言った3つの要素が必要になるんだと思います。

**司会:** 菊地さんを見ていて思うのは、今考えていることを計画段階でも人に話してくださいませよ。そこがなかなかできないと思います。

**菊地:** おしゃべりなんですね(笑)。あと、僕は失敗してしまうかもしれないけど、みんなに話せば誰かが成功してくれるかもしれない。それだけのことですよ。

**前田氏**

- 人と話す、会話術
- 人に頼る
- 先を読む

**前田**：自分の性格は、キャプテンではなく副キャプテンタイプなんです。だから、前に行ってくれる人がいれば、自分は後ろでいろいろ押していく力があると思います。ただ、会員さんと話すとか役員さんと話すとか、そういうところがどうしても苦手な部分があって。いろいろ準備して話す場ではなく、いきなり会話が始まる場面が苦手なので、自分自身で殻を破らないと成長はないかなと思っています。



「人に頼る」というのも自分の中の課題です。人に任せたほうがいいときでも「自分がやればいいのか」と考えてしまって、なかなか他の人に頼めない時期があったんです。でも、頼まないと次に広がらないし、役員さんたちにも理解してもらえないので、今後も頼る気持ちを持つようと思っています。また、情報を集めたり、将来の理想をイメージしたり、先を読んでいかないといけないですね。「こうなればいい」と思うだけではなく、一歩先のことを考えてみんなを動かすようにしていければと思います。

### 藤堂氏

- 多くの情報の中から、自分の地域に合ったスタイルを見つける！
- ファシリテーション能力
- 任せる

**藤堂**：私自身のこと、また岐阜県のクラブのことも含めてお話しします。

クラブの方に聞くと、公認クラブマネジャー資格を取ったことで多くの情報が得られるようになっていたようです。その上で、自分の地域に合ったスタイルをみつけられるかが課題ですね。他の事例を見て「これはすごいな」と思っても、自分のクラブに合わせたスタイルを見つけるとうまくいきませんから。私も、客観的に見て「こういうケースだったらこのクラブとつなげば良い結果になるかな」と提案できるスキルを持ちたいと思っています。

あと、ファシリテーター的な能力を身につけることは大事ですね。人と人をつなぐことができますし、クラブの人にもそういった能力を身につけてもらうことが大事です。理事会

で情報の共有をするときに、ホワイトボードで可視化してみんなで考えると、そういうスキルがあるといいのかなと思います。役割分担にしても課題解決にしても、その能力があれば有効だと思うので、私も身につけていければと考えてます。

また、前田さんがおっしゃったように人に任せること。いろいろな仕事を抱えているマネジャーさんも多いので、必要になる能力だと思います。



### 伊賀上氏

- 経理・会計
- 伝える力
- ファシリテーション能力
- あきらめない実行力

**伊賀上:** 4つになってしまって申し訳ないです(笑)。まず、経理や会計は単純に自分に足りない部分ですね。もちろん専任の方はいますが、よりクラブ運営を理解するために身につけていきたいです。  
伝える力やファシリテーション能力は、思っていることをちゃんと伝えて、みんなで考えていくために必要です。そこがしっかりしていないといい仕事はできないと思います。  
また、初心というか最初の頃に抱いていた夢のおかげでここまでやってきたと思ってますので、そこは大事にして、あきらめずに実行していきたいですね。いろんな人に助けをもらいながら少しずつ形になってきたので、これも大切なことかなと思ってます。

## 4 公認クラブマネジャー養成講習会に参加して

**司会:** クラブとしてこれからの計画を立てる際、公認クラブマネジャーの養成講習会の中で作成した「事業計画書」(5年計画)をどのように活用していますか？

**藤堂:** 同時期に養成講習会を受けた方々にも聞いてみましたが、すごく活用して更新しながら使ってる人もいます。参考資料として周りを見せて事業を実現していたり、私も事業計画書を基に提案して教室を開いたりしました。「やっぱり作ってよかった」という声も結構聞きますね。

**伊賀上:** すべてが事業計画書どおりにいっているわけではないですけど、教室の計画は取り入れてやったこともありますね。部分的には活用できています。

**前田:** 私は、ちょうどこの座談会の3日後に臨時総会を開いて会費の改定を諮ることになっています。私が提出した事業計画書は、「スポーツ振興くじ助成後をどう乗り越えるか」というテーマで会費の改定を見据えて作成しました。だから、役員さんに伝えるときの資料としても活用しました。数字の部分はもちろん修正しましたが、計画を考えるベースとしてとても役立ちました。

**司会:** 公認クラブマネジャー資格の取得によって、何か変化や影響はありましたか？

**前田:** 受講したときは、クラブのある真庭市からもう1人受講していたこともあり、今も連携をとって、イベント等もいろいろと一緒にしています。

**藤堂:** 岐阜県は16名が公認クラブマネジャー資格を取っていますので、他県に比べると公認クラブマネジャーのモデルケースが身近にある環境だと思います。同時期に養成講習会を受講した参加者の中にも「あんなマネジャーになりたい」ということで受けている方がいました。

あとは連絡協議会ですね。岐阜県では「ぎふ清流の国SCネットワーク(略称:清流ネット)」というんですけども、その常任委員もほとんどが日体協公認クラブマネジャー資格を持っているんですね。なので、情報共有という面でもメリットがあると感じています。

**伊賀上:** その年の参加者とのつながりができたことで、いろんなタイミングで同期が集まったり、それこそFacebookなんかでグループを作って情報交換したりしています。いろいろと刺激しあえる仲間ができたのが大きいなと感じています。

**司会:** 伊賀上さんより参加者とのつながりというお話でしたが、岐阜県は、公認クラブマネジャーが中心となったプロジェクトを実施されてますよね？

**藤 堂：**はい。岐阜県では、ぎふ広域スポーツセンターが公認クラブマネジャー資格保有者をプロジェクトメンバーとして委嘱して、事業に協力してもらって「クラブマネジャープロジェクト」を実施しています。



委嘱状交付式



プロジェクトメンバー

このプロジェクトの根幹は、「クラブがクラブを育てる」ということです。各クラブが外部の力を必要とするときに、各クラブにプロジェクトメンバーを派遣しています。謝金と旅費の費用は、すべて広域スポーツセンターが支払う形になります。

平成26～27年度は、クラブマネジャーにお願いしてクラブに行ってアドバイスしてもらっただけだったんですけど、28年度からはクラブ訪問だけでなく、市町村に出向いてクラブ設立についての話をしたりしています。2ヶ月に1回の県広域スポーツセンターとの合同会議では、クラブの支援や広域事業、スポーツ少年団との連携などについて話し合っただけで「こうやったらいいんじゃない」という意見をプロジェクトチームのクラブマネジャーの方からもらったりもしています。このプロジェクトチームによって、私とマネジャーの方たちの信頼関係も強くなりましたし、マネジャーさん同士もざっくばらんに提言して刺激しあうような関係になったと思います。

また、岐阜県では、公認クラブマネジャーや公認アシスタントマネジャー資格の取得にあたって経費の補助をしています。クラブマネジャーの資格を取った後に、自分のクラブだけではなく所属する都道府県のために力を貸すという場ができれば、クラブマネジャーさん自身も成長できるのではないかと思います。

**菊 地：**先日、岐阜県の研修にお邪魔しましたが、岐阜県は特にすごいですね。クラブと県行政が素晴らしいパートナーシップを持ち、予算もびっくりするような金額を付けていただいて、アドバイザーもクラブもそれにこたえて一生懸命進取組んでいる姿がはっきりと見えました。講師で呼ばれましたが、大変勉強をさせていただきました。

神奈川県では、公認クラブマネジャーが中心となり、一般社団法人神奈川県総合型スポーツクラブネットワーク(KSN)を組織しています。年に4～5回の理事会、3回のクラブマネジャー研修会、2回のクラブ定例会・総会、1回のクラブ交流会などをクラマネの皆さんと計画、実行しています。予算はほとんどありませんが、皆様からお預かりした会費を活用し、将来の事業化に向かって活動しています。

これから、このような法人化された中間支援組織がお互いに協力し合い全国活動につなげていくことが、クラブ連携に結びついていくと思っています。

# 最後に 全国のクラブマネジャーへ伝えたいこと

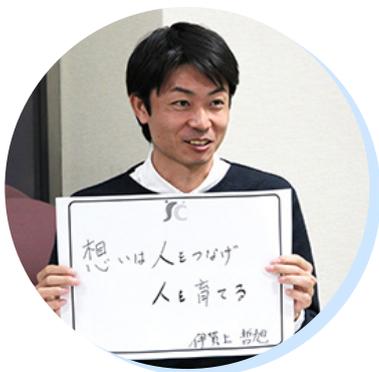


座談会メンバーの皆様に、全国のクラブ関係者へのメッセージをいただきました。

## 伊賀上 哲旭 氏

NPO法人今治しまなみスポーツクラブのクラブマネジャー。スポーツ施設の管理運営、教室やイベントの企画など、今治市を拠点にスポーツマネジメントに携わる。

主な資格：(公財)日本体育協会公認クラブマネジャー



### 「想いは人をつなげ 人を育てる」

誰の言葉でもないんですけど、なんとなくずっと大事にしてきた言葉です。やっぱり想いというのが原点にあって、その想いから動くことによって人とつながったり、助けてもらったりして、自分自身も成長し、また周りのメンバーも成長していくんだと思います。皆さんとこの想いも共有したいと思います。

## 前田 江美 氏

スポーツ・レクリエーション倶楽部くせクラブマネジャー。スポーツ推進委員がきっかけでクラブ設立準備委員になる。クラブ設立を機に事務局員になり、6年前からクラブマネジャーとして活動している。

主な資格 (公財) 日本体育協会公認クラブマネジャー、防災士



### 「語ることをつづける!!」

語るということは苦手な分野ではあるんですけど、思いを語れば耳を傾けてくれる人が必ずいます。また、会員さんや近くのクラブマネジャーさんとも語り合っていけば自分の強み・弱みが認識できると思います。自分の言葉で語り続けていけばうまくいくと思います。

## 藤堂 綾子 氏

岐阜県クラブアドバイザー。長良西スポーツクラブのマネジャーを経てクラブアドバイザー 3年目。岐阜市やスポーツ推進委員主催のイベントでノルディックウォーキングの指導員として活動中。毎年春から秋にかけては長良西スポーツクラブ主催で、長良川沿いで鵜飼いを見ながらナイトウォークを実施。時間があれば、金華山に登って岐阜城から町を見下ろす。

主な資格：(公財)日本体育協会公認クラブマネジャー



### 「スマイル まずは自分が楽しもう！」

やっぱり、自分が笑顔でいないといけないということ。地域の人のためとかそういう義務感だけじゃなくて、自分が楽しむという初心を忘れることなく進んでいきたいなと思っています。家庭も仕事も楽しんでいきたいです。皆さんも一緒に頑張りましょう！

## 菊地 正 氏

NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF副理事長・クラブマネジャー。本メールマガジン編集委員長、SC全国ネットワーク代表委員(神奈川県)。100年続くクラブづくりを地域、学校、行政と一体となり行うとともに、新しい学校づくりの計画を推進している。

主な資格：(公財)日本体育協会公認クラブマネジャー



### 「大きな夢を持って前進あるのみ!!」

これは私の生き方であり、クラブのあり方です。夢がないとやっぱり前進できない。そのためにはたくさん汗をかいて、いろんなものを乗り越えて、苦労しないとイケない。でもそうしていると助けてくれる人がいっぱい出てきて、仲間が増えていく。そして夢が達成できる。そういうことを常に考えています。楽しいことやいいことばかりじゃないのは当然ですけど、歩みを止めないで前に行くこと。この歳になってなかなかしんどいんですけど、頑張りたいと思います。

<日本体育協会公認クラブマネジャー資格の詳細はこちら>

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/221/Default.aspx>

連載



みんなで盛り上げよう!

## オリンピック・ムーブメント

### オリンピック・ムーブメント事例紹介

## [ 香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 ]

オリンピック・ムーブメントとは、オリンピックの精神（オリンピズム）に従って、スポーツを通じて平和でよりよい世界の実現を目指す活動のことです。2020年に向けて、国内でもさまざまな活動が行われています。

今回は、香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が実施しているオリンピック・ムーブメント関連の取り組みを紹介します。

### スロージョギング体験会

～東京オリンピック・パラリンピック競技大会聖火リレーに向けて～

- 実施日時 不定期開催（H27年度2回、H28年度1回）
- 実施会場 サンポート高松 せと・シーパレット付近
- 参加者数 各回15～30名程度
- 主催 香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会  
（以下、連絡協議会）

# 1 企画に至った経緯

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催が決定して以降、連絡協議会でも「香川県の総合型クラブとして何かできないか」と話題になっていました。そんな中、県内クラブが主催となり、田中宏暁氏(福岡大学教授)を招いて「スロージョギング教室」を実施



しました。これが大変好評で、県内の健康づくりの機運を高めるために連絡協議会として取り組もうということになりました。

平成27年6月23日のオリンピックデーに、連絡協議会として(公財)香川県体育協会を訪問。「もし東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが香川県内で行われるとしたら、走者の最低1名を、県内総合型クラブの会員から選出いただけないか」と申し入れたところ「前向きに検討します」との回答をいただきました。

これを機に、連絡協議会会長が日本スロージョギング協会認定アドバンスインストラクターの資格を取得し、本格的にスロージョギングの普及・啓発を開始しました。H27年12月には、一般県民にも呼びかけ、連絡協議会主催の「第1回スロージョギング体験会」をスタートさせました。

# 2 企画内容

サンポート高松の海沿い「せとシーパレット」を会場に、1~2時間ほど海風の中を走ります。まず、参加者全員でコミュニケーションを取りながら準備体操を行います。その後、走り方の指導を受けたら、集合場所から1km先の「赤灯台」を目指して実際に走ります。

参加者が自分の運動量や体調にあわせて走れるよう、①はじめての1kmチャレンジコース、②2km完走チャレンジコース、③フリージョギングコースの3コースを用意しており、最後は参加者全員に連絡協議会会長手作りの「完走認定証」が手渡されます。



# 3 参加者・運営側の声

## 参加者の声(実施後)

「スロージョギングはメディア等で知っていましたが、体験したのは初めてでした。これなら自分でも継続できると思うので、これからも続けたいです」

「専用の道具が不要で、走るペースさえつかめば、いつでもどこでもできるのが魅力だと思います」

「ぜひ次回も参加したいので、開催が決定したらまた声をかけてください!」

「大人になると賞状をもらう機会がほとんどないので、完走証をもらえた事がとても嬉しかったです!」

## | 運営側の声 (実施後)

スロージョギングは、誰でも気軽に取り組める種目ですが、まだまだ定着度は高くありません。興味を持ち継続してくれる人は1割いけばいい方ですが、私に関わって、香川丸亀国際ハーフマラソンに出場し、完走した方もおられます。こうした参加者が現れてくれると、とてもやりがいを感じます。

## 4 今後の展望

四国ブロッククラブネットワークアクション2016では、「地域につながるオリンピックムーブメント」をテーマにグループ討議をしたところ、「オリンピック・ムーブメントを盛り上げるため、事前の聖火リレーを、遍路道を活用して実施したい!」という声が上がりました。四国遍路を世界遺産に登録しようという運動にも協力できます。ぜひ実現したいものです!

(香川県クラブアドバイザー 山家春香)

### クラブプロフィール

設立年月日 : 平成21年5月31日

所在地 : 香川県高松市

特徴 : 県内の設立済み26クラブが全て加盟し、市町を超えたクラブ交流のきっかけとなっています。年1~2回の研修会の他、県主催「県民スポーツ・レクリエーション祭」で総合型クラブ啓発ブースを出展し、総合型クラブのPRにも尽力しています。H26年度からは、NPO法人遍路とおもてなしのネットワークと連携し、四国遍路を盛り上げるため、各地域の遍路道を歩くウォーキングイベントも実施しています。

#### ■ 連絡先

郵便番号	760-0014
住所	香川県高松市幸町1-1 香川大学教育学部野崎研究室内
TEL・FAX	087-832-1496
Eメール	nozaki@ed.kagawa-u.ac.jp
Facebook	<a href="https://www.facebook.com/UDON.kagawa.SC/">https://www.facebook.com/UDON.kagawa.SC/</a>



## 助成金情報

### ■ ヨネックススポーツ振興財団 平成29年度助成金

[実施団体] (公財) ヨネックススポーツ振興財団

青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励し、または自ら行い、かつ3年以上継続して活動している団体が対象となります。

[申込期間] 平成29年6月30日(金) ※当日消印有効

交付申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、対象団体であることを証明する書類を添付して送付します。

<http://www.yonexsports-f.or.jp/joseikin.html>

---

### ■ 第16回トム・ソーヤースクール企画コンテスト

[実施団体] (公財) 安藤スポーツ・食文化振興財団

子どもたちの「自活力」や「協調性」を育む自然体験活動の実施を推進する企画(小中学生が各回10名以上参加するもの)を募集します。定款・規約等が整備され、組織としての形態を有し、当該活動を主催する団体が対象です。

[申込期間] 平成29年5月17日(水) 必着

応募フォーマットをダウンロードし、必要事項を記入のうえ、対象団体であることを証明する書類を添付して送付します。

<http://www.shizen-taiken.com/contest2017/2017infof.html>

## お知らせ

### イベント情報

◎第11回全国スポーツクラブ会議in熊本なんかん 参加申込期限(3月末)せまる!

☆ 速報 全国会議最新情報 ☆

#### ● 鈴木大地スポーツ庁長官がパネリストとして決定

パネルディスカッション①「2020年・夢のステージに向けた地域スポーツの可能性」

<コーディネーター>

宮嶋泰子(テレビ朝日スポーツコメンテーター)

<他のパネリスト>

浦田理恵(ロンドン、リオパラリンピック・ゴールボール日本代表)

太田敬介(総合型地域スポーツクラブ・NPO法人SCC理事長)

#### ● 厚生労働省九州厚生局の後援が決定

山内強地域包括ケア推進課長(同局)がパネリストとして登壇

パネルディスカッション③「地域づくりは元気づくり・世代を超える健康増進」

超高齢社会を迎えている現在、健康寿命の延伸を図り、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、スポーツを通じた介護予防が必要となっています。地域に密着して活動する総合型地域スポーツクラブが果たす役割を探ります。

#### ● 大学生も登壇

藤澤拓朗(熊本県/九州看護福祉大学看護福祉学部鍼灸スポーツ学科)

パネルディスカッション②「輝け!子どもの体力向上」

#### ● 参加申込方法

A-lifeなんかんホームページにアクセスし、「申込書」をダウンロードしてFAXでお申込みください。

☑ A-lifeなんかんホームページ

<http://a-life-npo.com/>

#### ● その他のプログラム

実践報告「志をつなぐ ～東日本大震災・熊本地震からの一歩～」

レセプションパーティ(情報交換会)など

#### ● 大会公式Facebookページ

詳しい内容は、パンフレットのほかFacebookでもチェックできます。

☑ 大会公式Facebook

<https://www.facebook.com/kumamoto.sc.conf.11th/>

## 【第11回全国スポーツクラブ会議in熊本なんかん 概要】

主催：全国スポーツクラブ会議実行委員会

共催：クラブリンクJAPAN、一般社団法人全国スポーツクラブコミッション

後援：スポーツ庁、厚生労働省九州厚生局、熊本県、南関町、  
(公財)日本体育協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会、熊本県教育委員会、  
南関町教育委員会、(公財)熊本県体育協会、  
熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、NHK熊本放送局、熊本放送、  
テレビ熊本、くまもと県民テレビ、熊本朝日放送、エフエム熊本、熊本日日新聞社

主管：第11回全国スポーツクラブ会議開催地実行委員会

日程：平成29年5月20日(土)・21日(日)

会場：ホテルセキア(熊本県南関町)

テーマ：新しい1をはじめよう 想いをこの地へ いざ熊本!!  
～広がる未来、つながる地域、火の国くまもと～

## 日本体育協会公認スポーツ指導者資格情報

### ◎2017年4月1日付公認スポーツ指導者資格登録手続きのお知らせ

2017年4月1日付公認スポーツ指導者資格登録手続きを実施します。資格の取得および資格継続のために必要な手続きになりますので、該当する方は2017年3月31日(金)までにお手続きいただきますようお願いいたします。

☑ 対象者・手続き方法等の詳細についてはこちら

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/news/tabid/81/Default.aspx?itemid=3472>

## 第2期スポーツ基本計画について

平成29年3月1日に行われたスポーツ審議会において答申され、スポーツ庁のホームページ(下記参照)で公開されましたので、お知らせします。

☑ 詳細はこちら

[http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/shingi/001\\_index/gaiyou/1382785.htm](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/001_index/gaiyou/1382785.htm)